

# 環境DNA研究の最前線と企業の取り組み

山口大学では近年注目を集めている環境DNA研究を推進する「環境DNA研究センター」を2018年7月に設置しました。センターの第3回シンポジウムとして、環境DNA研究の最前線の研究者にご講演頂くとともに、関連企業の取り組みについて講演を頂きます。

**日時** 2020年8月25日(火)

13時20分～16時30分

(入室開始12時50分～)

※申込締切 2020/8/18(火)

参加費  
無料

**会場** Zoomによるオンラインシンポジウム

**定員** 300名(先着順)



CPD認定 2.7単位

## プログラム

13:20～13:30	開会挨拶	山口大学大学院創成科学研究科・教授（環境DNA研究センター長） 赤松 良久
13:30～14:10	「下水中のSARS-CoV-2検出による流行早期検知の可能性」	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科・講師 端 昭彦
14:10～14:40	「水産資源と水資源の管理における環境DNA：実例と可能性について」	九州大学大学院農学研究院・助教 栗田 喜久
14:40～15:10	「定量メタバーコーディング法を用いた魚類環境DNAの多種網羅的な定量評価」	山口大学環境DNA研究センター・学術研究員 辻 冨月
15:10～15:20	休憩	
15:20～15:40	「分析会社の視点で見る環境DNA」	株式会社環境総合リサーチ 芝田 直樹
15:40～16:00	「環境DNA分析技術を用いた環境調査事例：鹿島建設㈱の取り組み（仮）」	鹿島建設株式会社技術研究所 越川 義功
16:00～16:20	「環境流体を可視化するDNAトレーサーの開発」	日本工営株式会社中央研究所 今村 史子
16:20～16:30	閉会挨拶	山口大学長 岡 正朗

## 申し込み

本シンポジウムはZoomミーティングを利用します。環境DNA研究センターのホームページより[事前登録](#)をお願いいたします。申込後、登録確認メールが届きます。講演会の参加URLおよび注意事項は[当日の午前中にメール](#)いたしますので、ご確認ください。

## お問い合わせ先

### 山口大学 環境DNA研究センター

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

事務局：網本

[cedna@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:cedna@yamaguchi-u.ac.jp)

TEL:0836-85-9317

主催：山口大学 環境DNA研究センター

共催：山口大学 グローカル環境・防災学研究会

後援：環境DNA学会、土木学会中国支部

